

# 11 スナタバムシ

(ツバサゴカイ科)

兵庫県ランク:B

*Mesochaetopterus minutus*

環境省ランク:指定なし

## 種の概要

本州中部以南に分布する。体長30~40mm。ムギワラムシ(その他無脊椎動物Aランク)と近縁の小型種。比較的規模の大きい河川河口域などに広がる砂質干潟に生息する。砂粒と分泌物を練り合わせて作った直径3mm程度の細い棲管に棲む。地表側には10mm程度棲管が突出する。多数の個体が集合して束状になっているため、スナタバムシと呼ばれる。多いところではマット状となり、突出した棲管が敷き詰められたようになる。

## 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	○		○				

## 県内分布

姫路市

## 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。現在までのところ、姫路市の1河川のみで確認されている。河口に広がる広大な砂州の一部にのみ生息していたが、県内で似たような環境をもつ河川は多くはない。

## 保護上の留意点

今後の調査によって新たな生息場所が見つかる可能性があるものの、確認されている生息地が非常に少ない。また、河口の砂州のような比較的潮通しの良い砂質干潟を好むため、河川改修や浚渫などによって容易に生息場所が消失する可能性があり、注意を要する。



※撮影個体は県外産

写真提供：西宮市貝類館



【執筆者】 渡部哲也